



第13号

熊毛中組

実践運動推進委員会

熊毛中組ホームページに掲載しています。

宗門は、1986年度より「御同朋の社会をめざして」を目標に「基幹運動」を26年間展開し、2012年度からは、「御同朋の社会を目指す運動」(実践運動)と改称して、2024年度から第5期推進期間に入りました。熊毛中組は宗門の目標、〈貧困の克服に向けて～Dana for World Peace～〉-子どもを育むために-を受けて〈貧困・差別から子どもの人権を守る〉を目標に、これまでの第4期推進期間同様に今後4年間取り組んでいきます。

今年度は、第5期推進期間の1年目で、子ども食堂3ヶ所と、西本願寺「子どもたちの笑顔のための募金」に支援物資・支援金(年2回)をお届けしました。

人権研修会では21名の参加者と、子ども食堂の運営者3名の講師を迎え、子ども食堂の実情をお話いただき、現場の生の声を知ることができました。

1年間、物心両面でのご協力をいただきありがとうございました。今後も「御同朋の社会を目指す運動」(実践運動)にご理解ご協力、よろしく願いいたします。

### 子ども食堂への支援(2回目)の報告

11月7日(木)に組内寺院、ご門徒からの支援物資・支援金をお届けしました。

#### 支援物資

玄米 375 kg 白米 45 kg 小餅、そうめん、うどん、そば、焼きそば麺、スパゲティ、マカロニ、玄米ご飯パック、ジャガイモ、小麦粉、パン粉、白玉粉、乾小豆、レトルトカレー、カップ麺、インスタント袋麺、インスタントスープ、魚肉ソーセージ、シーチキン缶、鮭フレーク、コーン缶、レトルトコーンパック、果物缶詰、カレールー、らっきょう漬、ふりかけ、味付け海苔、麻婆茄子の素、かに玉の素、ぜんざいの素、砂糖、みりん、料理酒、めんつゆ、だしの素、マヨネーズ、ケチャップ、ごま油、サラダ油、ホットケーキミックス、ゼリー、水ようかん、袋菓子(ポテトチップス等)、個包装のお菓子、のど飴、緑茶、麦茶パック、カルピス、食器、布巾、ハンカチ、バスタオル、マスク、ペーパータオル、ティッシュ、保存容器、台所用品、衣類、ポーチ、サンダル、絵本、DVD

支援金 95,000円(支援先/らぶちゃん・みんな食堂赤子山・やないろ・西本願寺)

#### 協力寺院

教相寺、浄圓寺、正覚寺、萬徳寺、常楽寺、明楽寺、教円寺、誓立寺、円立寺、浄泉寺、正信寺、覚勝寺、山口別院

一寺院の活動として一步を踏み出して続けることは難しくても、熊毛中組の各寺院が協力し合えば地元の子どもの食堂の支援が末永く続き、賛同の輪が広がる事が期待できます。

### 人権研修会の報告

9月17日(火)に、田布施町社会福祉協議会(らぶちゃん)の平田さん・宇佐木コミュニティ協議会(みんな食堂赤子山)の新川さん・柳井しらかべ絆ネットワーク(やないろ)の中本さんを講師に迎えて、子ども食堂の実情をお話いただき、その後座談会で子どもの実情について理解を深めることができました。ご参加いただいた21人の寺族、ご門徒の皆様から、研修会後のアンケートで次のような意見や感想をいただきました。

- ・講師が子ども食堂の運営者3人でしたから、現場の生の声が聞け、わかりやすかった。
- ・現在も貧困問題があることを知った。
- ・子ども食堂が食の提供だけでなく、子どもの居場所になっていることを知った。
- ・子ども食堂が思った以上に活動されていることを知った。
- ・協力できることがあればしていく。
- ・もう少し、一般の方がおられるとよかった。(多すぎてもよくないが)
- ・座談会でもっと話す時間が欲しかった。(克服のために)



これらのアンケート結果より、現在も子どもの貧困問題があること、子ども食堂が食の提供だけでなく、子どもの居場所になっていること等を認識され、参加者の皆様から協力できることがあればしていくという気持ちが表れる研修会となりました。今後は実情を踏まえて、子どもの人権問題の克服へと研修を深めたいと思います。

次回の子どもの食堂の支援日は、6月12日(木)を予定しています。